

## 施策名：感染症・伝染病対策の確立

事業名	担当課・室名	ページ
緊急時放射線量検査体制整備事業	健康対策課	2 / 5
抗インフルエンザ薬確保事業	健康対策課	3 / 5
獣医師確保対策事業	畜産振興課	4 / 5
県産粗飼料流通拡大事業	畜産技術室	5 / 5

事業名	緊急時放射線量検査体制整備事業		事業期間	平成 26 年度～平成 年度	政策区分	危機管理の強化
					施策区分	感染症・伝染病対策の確立
総合評価	<b>C</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課（室）名	健康対策課	評価者	健康対策課長 藤内 修二

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	原子力災害対策に係る基本的事項を定めた大分県地域防災計画の策定及び事前・応急対策の実効性を高めるため実施要領の策定に伴い、これらを支える体制の整備が課題となっている。	事業の目的	原子力災害対策として、伊方原発事故を想定し、放射線ブルーム(大気中に放出された放射性物質が煙のように流れること)の影響を受けるおそれのある県民の放射線量検査体制を整備する。
-------	---	-------	--

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
作業者の防護具及び線量計の整備	個人防護具及び線量計の購入 個人防護具 38人分 線量計 38人分		総コスト		2,803	1,235
			事業費		1,803	235
作業者の専門知識やスキルの確保	保健所等職員の研修派遣原子力防災基礎研修(佐賀)4名 放射線科学講座(大分)6名		(うち一般財源)		1,803	235
			人件費		1,000	1,000
			職員数(人)		0.10	0.10

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	個人防護具及び線量計の購入(人分)	目標値			38			<b>C</b>
実績値				38				
達成率				100.0%				
保健所等職員の研修派遣(人)	目標値			10	10			
	実績値			7				
	達成率			70.0%				

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	研修終了後試験合格率(合格者/受験者)	目標値			100	100		<b>a</b>
実績値				100				
達成率				100.0%				

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 作業者の専門知識やスキルの確保を継続して行うことで、特に知識がないと対応できない原子力災害対策の要員を確保				

事業名	抗インフルエンザ薬確保事業		事業期間	平成 25 年度～平成 年度		政策区分	危機管理の強化
				施策区分	感染症・伝染病対策の確立		
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課 (室) 名	健康対策課		評価者	健康対策課長 藤内 修二

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	新型インフルエンザの発生に備えた抗インフルエンザウイルス薬の備蓄に関し、県民の45%に相当する量を国と県で均等に備蓄するにあたり、国から、目標備蓄量のうちの2割を「タミフル」から「リレンザ」に転換する要請があった。	事業の目的	新型インフルエンザの発生に備え、新型インフルエンザ等対策に必要な抗インフルエンザウイルス薬の備蓄及び個人防護具等の更新の整備等を行う。
-------	---	-------	---

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
抗インフルエンザウイルス薬の備蓄	抗インフルエンザウイルス薬の備蓄 必要備蓄総数 250,400人分 うち「タミフル」200,300人分 「リレンザ」50,100人分		総コスト	56,314	58,886	6,568
			事業費	46,314	54,886	2,568
			(うち一般財源)	46,314	54,886	1,349
			人件費	10,000	4,000	4,000
			職員数(人)	1.00	0.40	0.40

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	リレンザ(人分)	目標値		50,100	50,100	50,100		
実績値			31,250	50,100				
達成率			62.4%	100.0%				
タミフル(人分)	目標値		200,300	200,300	200,300	200,300		
	実績値		200,300	200,300				
	達成率		100.0%	100.0%				

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	抗インフルエンザウイルス薬(人分)	目標値		250,400	250,400	250,400		
実績値			231,550	250,400				
達成率			92.5%	100.0%				

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 抗インフルエンザウイルス薬の期限切れを更新し、備蓄量を確保				

事業名	獣医師確保対策事業		事業期間	平成 24 年度～平成 33 年度		政策区分	危機管理の強化
						施策区分	感染症・伝染病対策の確立
総合評価	<b>A</b>	<b>継続・見直し</b>	事業実施課（室）名	畜産振興課		評価者	畜産振興課長 重盛 進

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	近年、特定家畜伝染病が継続発生し、国民の食の安全に対する意識が高まる中で、公務員及び産業動物獣医師の役割がさらに重要となっているが、県内での安定的な確保ができていない。	事業の目的	獣医系大学に在籍する学生に対し就職勧誘活動を行うとともに、修学資金を支給し、産業動物獣医師、公務員獣医師を安定的に確保する。
-------	--	-------	--

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
獣医師確保特別修学資金給付事業	県内に獣医師（産業動物・公務員）として就職を希望する学生へ修学資金を給付（14名） 委託先：(公社)大分県畜産協会	・修学資金給付事業の事務を県畜産協会に委託	総コスト	12,565	17,477	18,134
獣医系大学生インターンシップ事業	県機関（家保、保健所等）での公務員獣医師研修（12名）		事業費	8,565	13,477	14,134
獣医系大学就職勧誘活動	各大学・就職説明会での学生勧誘及び就職内定者へのフォローアップ（14校訪問）		(うち一般財源)	8,565	13,477	14,134
			人件費	4,000	4,000	4,000
			職員数（人）	0.40	0.40	0.40

活動指標	指標名（単位）	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (33年度)	評価	今後の課題	
								・修学資金給付事業の国庫活用型については、各県の要望が増加傾向、予算の不足が懸念	
修学資金給付者数（人）	目標値		12	15	15	15	<b>a</b>		
	実績値		8	14					
	達成率		66.7%	93.3%					
インターンシップ参加者数（人）	目標値		6	6	6	6			
	実績値		10	12					
	達成率		166.7%	200.0%					

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名（単位）	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (33年度)	評価	事業の成果	
								最終的な採用者数は12名となり、目標の6名に対して大幅に拡大するとともに、採用者のうち、修学資金給付者は5名、インターンシップ研修受講者は2名となり、採用拡大に貢献できた。	
県内獣医師就職者数（人）	目標値		6	6	6	6	<b>a</b>		
	実績値		6	12					
	達成率		100.0%	200.0%					

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	終了	<b>継続・見直し</b>	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- ・獣医師確保特別修学資金の給付対象者の確保に向けた獣医系大学に対するアプローチと情報発信
- ・大分県や県獣医師（公務員・産業動物）の仕事伝えるため、就職説明会やインターンシップ研修を通じた積極的な情報発信
- ・勤務労働条件等の説明だけでなく、大分県の文化、生活環境、観光資源等を取り入れた魅力あるプレゼンテーションの実施

事業名	県産粗飼料流通拡大事業		事業期間	平成 23 年度～平成 27 年度		政策区分	危機管理の強化
						施策区分	感染症・伝染病対策の確立
総合評価	<b>A</b>	<b>終了</b>	事業実施課（室）名	畜産技術室		評価者	畜産技術室長 近藤 信彦

[ 1. 現状・課題、目的 ]

現状・課題	輸入穀物価格の上昇や円安により配合飼料・輸入牧草の価格が高騰している。	事業の目的	県産稲発酵粗飼料及びエコフィードを原料とした安価な飼料を開発する。
-------	-------------------------------------	-------	-----------------------------------

[ 2. 事業内容と今後の課題 ]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
稲発酵粗飼料を利用した混合飼料の普及	大分県酪農協同組合が行う県産飼料とビール粕等を原料とした、乳牛、繁殖雌牛用飼養飼料の開発・普及を支援	・開発と同時に現地試験を実施	総コスト	13,782	7,238	4,543
			事業費	10,782	4,238	1,543
焼酎粕濃縮液混合飼料の開発・普及	大分県農林水産研究指導センター畜産研究部が行う県内酒造メーカーから排出される焼酎粕濃縮液と稲発酵粗飼料を主原料とした安価な子牛育成用飼料の開発・普及	・開発と同時に現地実証試験を実施	(うち一般財源)	10,580	2,525	1,543
			人件費	3,000	3,000	3,000
			職員数(人)	0.30	0.30	0.30

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (27年度)	評価	今後の課題	
								今後の課題	
	乳牛用、繁殖雌牛飼養飼料の開発(種類)	目標値		2	2	2	<b>a</b>	・県産飼料を活用した混合飼料の普及	
		実績値		2					
		達成率		100.0%					
	開発した子牛飼料の現地(農家)試験頭数(頭)	目標値		30	30	30			
		実績値		27					
		達成率		90.0%					

[ 3. 事業の成果 ]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (27年度)	評価	事業の成果	
								事業の成果	
	開発飼料利用農家戸数(戸数)	目標値		15	20	20	<b>a</b>	県産飼料を活用した新規の安価で高品質な飼料が開発できた。	
		実績値		17					
		達成率		113.3%					

[ 4. 今後の方向性等 ]

今後の方向性	<b>終了</b>	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・開発した飼料の給与実証を行い、飼料性能の検証を実施				